

ワーグナー作曲 楽劇「トリスタンとイゾルデ」

120812

幕	場	場面	内容	分	主な歌う登場人物					見どころ・聴きどころ		
第一幕 80分	前奏曲			10						有名な前奏曲		
	1	イゾルデ 移送中 の船の 甲板上	「 コーンウォールには上陸したくない 、沈没して欲しい」というイゾルデの不可解な言葉の真意を問うブランゲーネ。イゾルデは、天幕を開けさせる。	5		イゾル デ		ブラン ゲーネ		水夫		
	2		「トリスタンが自分に挨拶に来るように」とイゾルデはブランゲーネを使いにするが、トリスタンは「 手が離せない 」という理由で断る。	10	トリス タン	イゾル デ	クル ヴェ ナール	ブラン ゲーネ		水夫		
	3		イゾルデは、ようやくブランゲーネにトリスタンとの過去を話す。「亡き許嫁の仇であるトリスタンが傷を負った時に私は復讐しようとしたが、 トリスタンの悲しげな瞳に哀れみを感じ その機会を逸してしまった。」	45	20		イゾル デ		ブラン ゲーネ			イゾルデの告白
			イゾルデは、「トリスタンは、マルケ王との愛のない結婚を支持しかつ、船での移送のための護衛をかけてるなど、 私の気持ちを理解してくれない 。」と言い、怒りがたまっている理由を説明する。									
			イゾルデは、年老いた国王と結婚などしたくないことと、トリスタンに対する復讐心とトリスタンの瞳に対する哀れみという複雑な気持ちを清算すべく、 トリスタンと共に死ぬ決意をした 。									
4	クルヴェナールが「到着の準備を。」と言いに来るが、イゾルデは、「トリスタンが、私のところに罪の償いに来なければ、 上陸することはできない 。」		10		イゾル デ	クル ヴェ ナール	ブラン ゲーネ					
5	イゾルデは感じている不満を言い、トリスタンは王の使者という立場上無理解な態度を取らざるを得ない等説明した結果双方 合意し、死による償いの乾杯 をすることになった。しかし、ブランゲーネは 毒薬酒の代わりに媚薬酒を与えた のだった。	25	20	トリス タン	イゾル デ					港到着後に媚薬を飲んだので、船内は大慌てとなり、音楽も、明るい合唱と愛の法悦状態の交錯状態となる。		
	媚薬を飲んだ二人は、船が到着しマルケ王が向かえに来ているにもかかわらず、 互いの名前を呼び合い抱擁し合うなど周囲のことを忘れ、見つめ合ったまま であったが、現実に戻され幕となる。		5	トリス タン	イゾル デ	クル ヴェ ナール	ブラン ゲーネ		合唱			
第二幕 80分	前奏曲(愛の焦燥感の音楽)			2								
	1	マルケ王 の城の前 での 愛の場面	夏の月が明るく輝いている夜、マルケ王が獵に出て留守の間にトリスタンを待つイゾルデ。ブランゲーネは不倫の発覚を恐れるが、イゾルデは愛に光は邪魔なので闇を求め松明を消す。	13		イゾル デ		ブラン ゲーネ				
	2		トリスタンが来て「 トリスタン！愛する人よ！あなたは私のもの！ 」から始まり、屋は愛の敵であり、媚薬の効果で夜の世界に来たことにより 愛し合えるようになった等、これまでの経緯を語り合う 。	53	20	トリス タン	イゾル デ					
	2		「胸と胸をつけ、口と口をつけ、息も一つにともに通わせ！」等陶酔に浸るが、ブランゲーネは、夜明けが近づいたので警告を与える。 二人は、「 愛のために死ねば、永遠の愛が続く！ 」等、 夜という永遠の愛の世界である死を望む 。	20	トリス タン	イゾル デ		ブラン ゲーネ		愛の二重唱とブランゲーネの警告		
	3		部下のメロートに不倫現場に連れられたマルケ王は、「イゾルデとの結婚は、トリスタン以下の部下達、国民のたつての願いであったはずだが、いま、無残にもトリスタンに傷つけられた。」	25	15	トリス タン		クル ヴェ ナール		マル ケ王	メロ ート	暗い歌
トリスタンは、「王よ、それには答えられない、わからない」、イゾルデに向かって「 私の行く暗い夜の国について来てくれますか？ 」「真心と愛を持って行きましょう。連れて行って下さい。」 メロートの挑戦に自ら刀を捨て傷を受けクルヴェナールの腕の中に。			10	トリス タン	イゾル デ				メロ ート			
第三幕 80分	前奏曲と悲しげな牧笛の音			10						イングリッシュホルンの音		
	1	トリスタン の故郷の カレオー ルの城の 庭	クルヴェナールは、トリスタンをカレオールに連れてきた。トリスタンは、 一時的な意識的な無様状態 にいて、なれば夜の国に踏み行ったが、イゾルデがまだ生きているために戻ってきたと、言う。	45	20	トリス タン		クル ヴェ ナール			牧童	
			クルヴェナールからイゾルデが来ることを聞いたトリスタンは、今度は 過去の話を始める が、イゾルデの到着と交錯する。トリスタンは、媚薬は自分が作ったことをいい、運命の恐ろしさに愕然とする。そして、イゾルデが乗った船が見えてきて二人とも大騒ぎする。	25	トリス タン		クル ヴェ ナール				悲しげなイングリッシュホルンの音	
			トリスタンは、喜びのあまり立ち上がり傷口から包帯を引きちぎり、よろめき出すが、 駆けつけたイゾルデに抱かれ力尽きて息絶える 。イゾルデは、「間に合わなかった、強情な人よ、こんなむごい拒み方で私を罰するのですか？」と嘆き、意識を失う。	25	10	トリス タン	イゾル デ					愛する人の死に間に合わなかったイゾルデの嘆きの歌
ブランゲーネから事の経緯を知らされたマルケ王は、二人を許すために到着した。しかし、イゾルデは、ブランゲーネに抱かれたまま 夢の陶酔の中でトリスタンの死体の上に倒れ、後を追う 。			15		イゾル デ	クル ヴェ ナール	ブラン ゲーネ	マル ケ王	メロ ート他	イゾルデが最後に歌う「愛の死」		

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。